

横尾(足大付)大回転もV 全国高校選抜 スキー男子



横尾 錬

アルペンスキーの第35回

全国高校選抜大会第2日は9日、長野県の志賀高原シヤイアントスキー場で男女の大回転(2回)を行い、男子の横尾錬(足利大付)が1分40秒74で初優勝し、8日のスーパー大回転に続いて2冠に輝いた。同種目での県勢の優勝は4年ぶり。(16面に関連記事) 標高差260mのコースに128人が出場した男子の1回目で横尾は10番目に出走。序盤の緩斜面を攻め

て48秒57の1位で折り返すと、2回目は雪面の状況が悪化した30番目の出走だったが、冷静に旗門を通過し52秒17のトップタイムで滑り切った。このほか県勢は女子大回転で大西美琴(足利大付)が準優勝を飾った。横尾は最終日の10日に回転に出場する予定で3冠を狙う。(星国典)

横尾(足大付)光る安定感

同門の大西、女子2位

大回転

スキー 全国高校選抜

アルペンスキーの第35回全国高校選抜大会は9日、長野県の志賀高原シヤイアントスキー場で男女の大回転(2回)を行い、男子は横尾錬(足利大付)が1分40秒74で初優勝、8日のスーパー大回転に続き2冠を達成した。女子は大西美琴(同)が1分42秒39で準優勝、深澤ひなた(同)が6位に入賞した。横尾は1回目に序盤の

緩斜面を攻めてタイムを伸ばすと、2回目は気温上昇で水分が多くなった雪面を苦にせず滑走。2回ともトップタイムと安定した滑りで頂点に立った。大西は1回目に53秒16でトップに立ったが、2回目は4位の記録で順位を落とした。この他県勢は男子の権田武蔵(同)が1回目途中棄権、女子の中村凛々花(同)が1分47秒98で30位、井口花(同)と町井友香(真岡女)は1回目途中棄権だった。

大会最終日は10日、同会場で男女の回転を行う。
▽男子大回転 ①横尾錬(足利大付)1分40秒74、48秒57、52秒17、権田武蔵(足利大付)11回目途中棄権
▽女子大回転 ②大西美琴(足利大付)1分42秒39、53秒16、49秒23、③深澤ひなた(足利大付)1分43秒57、53秒98、49秒59、④中村凛々花(足利大付)1分47秒98、56秒47、51秒51、井口花(足利大付)11回目途中棄権、町井友香(真岡女)11回目途中棄権



男子スーパー大回転に続き大回転も制した横尾(足大付) 11長野県の志賀高原シヤイアントスキー場

横尾 雪面の状況に柔軟対応



長野県出身の横尾にとって、小学生時代から滑り慣れたコース。1回目は序盤の緩斜面で加速するため果敢に攻めた。気温が上昇して水分の多い雪面になった2回目は攻めるだけでなく柔軟に対応。「雪面に残っているラインになるべく合わせた」と冷静にスキーを滑らせ2回とも1位と実力をしっかりと発揮した。残る回転にも意欲十分だ。「ミスが減ってきて調子がいい。3冠を狙いたい」と力を込めた。

足利大付・大西美琴(女子大回転2位)「1回目で1位だっただけに優勝しなかった。柔らかい雪面にうまく対応できず、2回とも自分の滑りができなかった。めちゃくちゃ悔しいし、このままでは終われないので回転は勝ちたい」